平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名　国際計測器株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7722　URL　http://www.kokusaikk.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松本　繁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 松本　博司　TEL 042-371-4211

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,663	32.0	△78	―	△79	―	△77	―
23年3月期第1四半期	1,261	45.3	△68	―	△129	―	△60	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△41百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△230百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△5.56	―
23年3月期第1四半期	△4.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,046	5,952	45.3
23年3月期	13,556	6,343	46.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　5,912百万円　23年3月期　6,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	10.00	―	25.00	35.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		20.00	―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	25.7	800	57.2	770	127.1	460	91.8	32.82
通期	11,000	2.2	2,000	8.5	1,950	20.6	1,170	15.5	83.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,200,000 株	23年3月期	14,200,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	184,539 株	23年3月期	184,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,015,493 株	23年3月期1Q	14,015,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報…… 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報…… 4
(3)　連結業績予想に関する定性的情報…… 4

２．サマリー情報（その他）に関する事項…… 5

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 5
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 5
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 5

３．四半期連結財務諸表…… 6

(1)　四半期連結貸借対照表…… 6
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 8
(3)　継続企業の前提に関する注記……10
(4)　セグメント情報……10
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……11

４．補足情報……12

生産、受注及び販売の状況……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国・東南アジア地区の自動車・タイヤメーカーの設備投資については、前連結会計年度に引き続き堅調に推移しております。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資については、燃料電池や電気自動車等の環境に配慮した研究開発分野への集中が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、製造ライン用の試験装置であるバランシングマシン及びシャフト歪自動矯正機と共に、研究開発用の試験装置である各種の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの製造ライン向けタイヤ関連試験機を中心に35億６千６百万円（前年同四半期比3.8%増）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、16億６千３百万円（前年同四半期比32.0%増）、営業損失は７千８百万円（前年同四半期は６千８百万円の損失）、経常損失は７千９百万円（前年同四半期は１億２千９百万円の損失）、四半期純損失は７千７百万円（前年同四半期は６千０百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、前年同四半期と比較して増加しておりますが、当社グループは第２四半期・第４四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、ほぼ予定通りの進捗度となりました。

利益面につきましては、外貨建売上高の割合が高いことから、円高ドル安により売上総利益率が低下したこと及び製品保証費等の販売費及び一般管理費が増加したことが主たる要因であります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとしたアジアの中堅タイヤメーカー向けバランシングマシンを中心として、受注高・売上高共に堅調に推移しました。前連結会計年度に電気サーボモータ式振動試験機の事業展開を推進しており、受注高・売上高共に前年同四半期を上回りました。その結果、売上高は13億９千１百万円（前年同四半期比25.3%増）、セグメント利益（経常利益）は７千８百万円（前年同四半期比44.9%減）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

受注高・売上高共に前年同四半期を上回りました。その結果、売上高は１億１百万円（前年同四半期比148.5%増）、セグメント損失（経常損失）は３千５百万円（前年同四半期は５千８百万円の損失）となりました。

〔米国〕

前連結会計年度から繰り越した大手タイヤメーカー向けのバランシングマシンが予定通りに検収されたことなどにより、受注高・売上高共に前年同四半期を上回りました。その結果、売上高は１億４千１百万円（前年同四半期比259.1%増）、セグメント損失（経常損失）は２百万円（前年同四半期は１千６百万円の損失）となりました。

〔韓国〕

前連結会計年度に引き続き自動車・タイヤ関連メーカーからの受注が堅調に推移しております。客先への納品検収の大半は、第２四半期以降を予定しているものの、売上高は前年同四半期を上回りました。その結果、売上高は２億１千７百万円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント利益（経常利益）は２千５百万円（前年同四半期比28.4%減）となりました。

〔中国〕

中国からの受注は堅調に推移しておりますが、中国での現地製造が減少しました。また、客先への納品検収の大半は、第２四半期以降を予定しております。その結果、売上高は９千３百万円（前年同四半期比47.5%減）、セグメント損失（経常損失）は１百万円（前年同四半期は４千４百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、87億５千２百万円（前連結会計年度末比５億３千５百万円減）となりました。これは、受注残高の増加に伴い仕掛品が増加（前連結会計年度末比６億８千７百万円増）したものの、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比13億７千１百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、42億９千３百万円（前連結会計年度末比２千５百万円増）となりました。これは、投資有価証券が時価の上昇により増加（前連結会計年度末比４千２百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、51億９千９百万円（前連結会計年度末比４千８百万円増）となりました。これは、法人税等を納付したことにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比７億３百万円減）したものの、短期借入金（前連結会計年度末比６億５千万円増）及び前受金（前連結会計年度末比２億４千６百万円増）が増加したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、18億９千５百万円（前連結会計年度末比１億６千６百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金へ振替えたことにより長期借入金が減少（前連結会計年度末比１億８千２百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、59億５千２百万円（前連結会計年度末比３億９千１百万円減）となりました。これは、期末配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比４億２千８百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

例年、第２四半期及び第４四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、平成23年５月13日発表の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,539,388	2,614,541
受取手形及び売掛金	4,038,305	2,667,239
商品及び製品	264,982	213,359
仕掛品	1,405,028	2,092,216
原材料及び貯蔵品	578,073	602,049
繰延税金資産	274,869	306,469
その他	195,668	263,344
貸倒引当金	△7,667	△6,361
流動資産合計	9,288,648	8,752,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,579,212	1,577,787
機械装置及び運搬具	172,880	172,490
土地	1,671,246	1,671,246
その他	167,378	168,902
減価償却累計額	△1,068,879	△1,081,169
有形固定資産合計	2,521,838	2,509,257
無形固定資産		
のれん	105,844	88,203
その他	57,083	60,580
無形固定資産合計	162,927	148,783
投資その他の資産		
投資有価証券	153,454	195,783
長期貸付金	37,379	37,396
繰延税金資産	121	117
保険積立金	1,334,978	1,372,779
その他	75,895	55,479
貸倒引当金	△18,800	△25,851
投資その他の資産合計	1,583,027	1,635,704
固定資産合計	4,267,792	4,293,745
資産合計	13,556,440	13,046,604

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,217,836	1,929,592
短期借入金	250,000	900,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	630,906	616,616
未払法人税等	776,898	73,766
賞与引当金	128,297	221,208
製品保証引当金	231,804	243,898
前受金	616,486	862,533
その他	198,684	251,426
流動負債合計	5,150,914	5,199,042
固定負債		
長期借入金	1,616,864	1,434,360
繰延税金負債	135,703	147,515
退職給付引当金	180,900	183,099
役員退職慰労引当金	123,956	126,223
資産除去債務	4,151	4,174
固定負債合計	2,061,575	1,895,372
負債合計	7,212,490	7,094,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,143,788	4,715,517
自己株式	△150,917	△150,946
株主資本合計	6,952,370	6,524,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,634	74,996
為替換算調整勘定	△687,196	△686,973
その他の包括利益累計額合計	△638,561	△611,977
少数株主持分	30,140	40,096
純資産合計	6,343,950	5,952,189
負債純資産合計	13,556,440	13,046,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	1,261,000	1,663,955
売上原価	804,170	1,116,826
売上総利益	456,830	547,128
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	60,888	67,593
貸倒引当金繰入額	4,305	5,767
役員報酬	20,000	43,050
給料手当及び賞与	112,122	123,277
賞与引当金繰入額	27,298	32,903
退職給付費用	12,856	7,064
役員退職慰労引当金繰入額	2,200	2,267
運賃	52,290	59,945
減価償却費	6,254	5,496
研究開発費	13,329	9,407
その他	214,196	269,356
販売費及び一般管理費合計	525,741	626,128
営業損失（△）	△68,911	△78,999
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,807	14,732
保険解約返戻金	－	8,400
その他	3,719	6,451
営業外収益合計	14,526	29,583
営業外費用		
支払利息	8,280	7,051
持分法による投資損失	107	2,552
売上債権売却損	1,782	1,791
為替差損	61,558	15,215
保険解約損	1,016	269
その他	2,135	3,702
営業外費用合計	74,881	30,582
経常損失（△）	△129,265	△79,999
特別損失		
固定資産除却損	34	109
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,848	－
特別損失合計	1,882	109
税金等調整前四半期純損失（△）	△131,148	△80,109
法人税、住民税及び事業税	10,154	26,043
法人税等調整額	△82,761	△37,685
法人税等合計	△72,607	△11,641
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△58,541	△68,467
少数株主利益	1,710	9,415
四半期純損失（△）	△60,251	△77,882

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△58,541	△68,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,085	26,361
為替換算調整勘定	△174,751	356
持分法適用会社に対する持分相当額	164	405
その他の包括利益合計	△171,501	27,123
四半期包括利益	△230,042	△41,343
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△232,600	△51,299
少数株主に係る四半期包括利益	2,557	9,955

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	1,035,347	40,745	36,849	51,087	96,933	1,260,963	36	1,261,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	75,171	－	2,586	129,043	80,305	287,107	20,623	307,730
計	1,110,519	40,745	39,435	180,130	177,239	1,548,071	20,659	1,568,730
セグメント利益又は損失（△）	141,829	△58,424	△16,359	35,540	44,609	147,195	9,850	157,046

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	147,195
「その他」の区分の利益	9,850
セグメント間取引消去等	△286,311
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△129,265

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	1,293,061	101,238	141,555	59,338	63,157	1,658,350	5,604	1,663,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	98,319	－	47	158,357	29,922	286,646	28,171	314,818
計	1,391,380	101,238	141,603	217,695	93,079	1,944,997	33,776	1,978,773
セグメント利益又は損失（△）	78,113	△35,748	△2,922	25,448	△1,379	63,512	17,665	81,177

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	63,512
「その他」の区分の利益	17,665
セグメント間取引消去等	△161,177
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△79,999

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

区　分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	1,168,011	△28.7	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	146,635	△35.3	日本(国際)
材料試験機	101,238	＋148.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	144,655	△6.6	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	112,457	＋1.5	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	1,672,996	△22.9	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

区　分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	2,613,003	＋15.3	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	206,999	＋61.7	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	396,404	＋88.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	207,132	＋46.3	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	142,785	△79.3	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	3,566,325	＋3.8	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第１四半期連結累計期間末（平成23年６月30日）

区　分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	6,159,223	＋24.3	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	810,746	△10.3	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	499,098	＋109.7	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	604,182	＋30.5	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	136,602	△80.4	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	8,209,852	＋13.1	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

区　分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	1,164,846	＋11.2	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	146,636	＋707.9	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	101,238	＋148.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	137,576	＋204.1	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	113,657	＋3.7	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	1,663,955	＋32.0	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。